



平成29年 9月29日発行 No.16



巻 頭 言

日本小児歯科学会近畿地方会副会長

池尾小児歯科 池尾元三朗

近畿地方会の皆様におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。また日本小児歯科学会近畿地方会の活動にご尽力をいただきまして誠にありがとうございます。このたび平成28、29年度近畿地方会の副会長を拝命いたしました。そして地方会推薦ということで日本小児歯科学会の理事にも就任いたしました。元来、むずかしいことの苦手な私に勤まるかどうかはわかりませんが精一杯職責を全うするつもりでおります。よろしくお願い申し上げます。

さてわが診療室は1983年の開業以来35年が過ぎ、開業当初は多くの子どもさんに来ていただきましたが、少子高齢化が進み近年子ども患者の減少が顕著でしたが、一部に小さいころから来てくれていた患者さんが年を重ね親になり、その子どもとともに来院してくれるようになりました。私にとっては子ども患者の子どもである孫世代が訪れ、大人になった子ども患者と共にそしてその父母も診るといふ、3世代受診のケースが増えてきました。3世代を診るといふことは子どもだけを診ていたときには説明の付かなかったことが見えてきた様な気がします。保護者の方にも納得してもらえるケースが増えてきました。

たとえば兄弟で同じように生活しているのに成長や性格で差があった場合に世代間を線で結ぶことで兄弟それぞれ父親からと母親からの違う流れ、時に祖父母からの流れで生きているんだと。また兄弟で食べるのが遅い子と早い子がいればそれぞれに歯列咬合が違っていて、片方が父親似でもう一人が母親似ということがあります。そうすると母親は自分と違う歯列咬合を持つ子どもの事は理解できずにいる場合があります。子どもを点で診るのではなくて世代間を結ぶ線上で診ることで将来予測をする。それが明るい未来ならばなにもせずに観察を続ける、そうでないならば早い時期から軌道修正・方向転換を考えて行く。予測歯科と名付けました。

これはたまたま私どもに来院する子どもが減少したことで大人になった子ども患者を診ることでこういうことになってきたのですが、一人の患者を長く、家族すべてを、新生児から高齢者まで診る、これこそファミリードクターであり、そして成し得るのは小児歯科医しかいないと思っています。いかがでしょう。

第35回 近畿地方会大会を終えて

準備委員長 野村 良太

第35回日本小児歯科学会近畿地方会大会は、大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学教室の担当で、平成28年10月16日（日）に千里ライフサイエンスセンターにおいて開催されました。当日は歯科医師328名およびコ・デンタルスタッフ等118名のご参加をいただきました。

少子化が問題視され長い時間が経過している上に、子どもの齲蝕は減少しているはずなのですが、私どもの診療室の初診患者さんはここ数年増加している傾向にあります。その原因には、一人ひとりの子どもが大切にされるようになってきたことや、保護者の方の歯科治療に対する意識が向上してきたなどが挙げられるかもしれません。それらを含めた様々な原因に伴って、小児歯科医に対するニーズは時代とともに形を変えていきながらも、今後も減少することはないと思われます。このような背景から、「カスタムメイドな小児歯科医療を見据えて」というテーマを掲げさせていただきました。

特別講演には、大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学教室の初代教授であり、昨年度末に関西女子短期大学をご勇退されました祖父江鎮雄先生に、「日本“小児歯科”昔ばなし」と題してご講演いただき、日本小児歯科学会のこれまでの歩みを振り返っていただくとともに、小児歯科の未来について貴重なアドバイスをいただきました。また、地方会発足に当たっては、小児の口腔の健康状態には社会経済的側面や地域性があり、地域性を視野に小児歯科を発展させる



必要性があったことや、歯科衛生士の積極的な協力を期待していたことなどが主な目的であったとお話しいただきました。

教育講演として、口腔外科、矯正科、放射線科領域の専門医として最前線に立ってご活躍の伊藤 章先生（大阪大学大学院歯学研究科助教）、原口誠自先生（大阪大学大学院歯学研究科臨床准教授）、柿本直也先生（広島大学大学院医歯薬保健学研究院教授）を講師としてお招きし、小児歯科医が持つべき知識をご教示いただきました。歯科衛生士セミナーでは、「効率的な衛生指導の実践のために見直す基礎知識」と題して、齲蝕、歯周病、予防歯科の観点から、仲野道代先生（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科教授）、稲葉裕明先生（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科准教授）、久保庭雅恵先生（大阪大学大学院歯学研究科准教授）を講師としてお招きしご講演いただいた後、活発な総合討論を行いました。

展示発表としては、一般演題29題、専門医発表3題および認定衛生士発表1題のご発表をいただき有意義な討論が交わされました。商業展示では、12社の出展をいただきました。お昼の時間帯には、講演者の先生方をお招きし、大会会場において懇親会を行いました。

本大会の開催にあたっては、日本小児歯科学会担当理事の先生方をはじめ多くの先生方にご協力いただきましたことに、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。第36回日本小児歯科学会近畿地方会大会は、平成29年10月15日（日）に有田憲司先生を大会長に、大阪歯科大学楠葉学舎で開催される予定です。多数の皆様のご参加をお願い申し上げます。



大阪歯科大学歯学部小児歯科学講座 (Team ARITA) の紹介

大阪歯科大学は今年4月に医療保健学部ができ、正式名称が大阪歯科大学歯学部に変更になりました。本講座は昭和43年に創設され、来年で50周年を迎えます。稗田豊治教授、大東道治教授そして現在の有田憲司教授で3代目になります。現在の常勤の医局員は助教以上9名、大学院生5名、病院医員3名で、その他たくさんの非常勤の先生方が在籍しています。

本講座 (Team ARITA) は「Anything is possible. The harder you work, the luckier you get. (不可能なことは何もない。努力すればするほど、運はついてくる。)」をモットーに、世界的なレベルで小児歯科学および小児歯科臨床に貢献することを目指し、講座員一丸となって日々研鑽を積んでいます。毎週、止揚会というオープン勉強会を開催しています。

本講座の研究は、1. 生体材料の研究開発 (新規アパタイトグラスアイオノマーセメントの開発、プラズマイオン注入法による歯科材料・装置の表面改質)、および2. 乳歯歯髄および歯根膜の分子生物学的研究の2大プロジェクトを中心に据えています。本年度は、科学研究費補助金4件およびその他の研究資金を受けて「新概念の齲蝕管理システム ICCMS に適した新規高機能性材料の商品化への戦略的研究」、「乳歯歯髄由来細胞における抗炎症メカニズムの解析」、「在宅診療に適した象牙質再生能を有する多機能型修復材料の開発」、「乳歯歯髄由来細胞の低酸素培養における未分化能の検討」の研究を実施しています。本年5月に開催された第55回小児歯科学会大会では生体材料学的研究を担当している篠永ゆかり講師が SHOFU Award と優秀発表賞を、分子生物学的研究を担当している河合咲希助教が優秀発表賞を受賞しました。



臨床では、「老後にいたるまで全ライフステージを健やかに過ごすためのたくましい健康を獲得するために、小児期に健康意識、健康行動および口腔健康増進を育む」ことを使命とし、新生児から成人するまでの健康児、障害児および有病児、すなわち全ての小児を対象に、長期口腔保健管理を基盤として、健全な永久歯咬合の育成及び育児支援を行っています。具体的には、齲蝕の予防と治療、歯周疾患の予防と治療、咬合誘導処置、埋伏過剰歯の摘出、嚢胞の摘出、歯の再植、外傷歯の処置等、小児のために広範囲かつ高度の歯科医療を行っています。また、小児の歯科不安、歯科恐怖を予防・軽減するために、小児の行動科学に基づく診療を実施していること、および摂食嚥下障害児の機能療法を行っていることなども特徴の一つです。

教育面では学生たちに小児歯科に興味を持ってもらい、小児歯科の魅力とやりがいを十分に伝えられるような教育を目指して頑張っています。

平成29年10月15日には本講座担当で大阪歯科大学楠葉学舎において第36回近畿地方会を開催します。また、平成30年5月10日・11日には大阪国際会議場で行われる第56回日本小児歯科学会を担当します。

今後とも近畿地方会の先生方にはご指導・ご支援よろしくお願い致します。

(文責：園本 美恵)

近畿地方会県別会員数 (H28年8月現在)

	正会員	衛生士会員	名誉会員	会員数合計	専門医指導医	専門医 (指導医を含む)	認定医	認定歯科衛生士
滋 賀	39	5	0	44	1	12	2	1
京 都	55	1	0	56	1	11	1	3
大 阪	314	22	2	338	14	79	11	17
兵 庫	157	20	1	178	3	42	4	2
奈 良	33	6	0	39	1	8	2	3
和 歌 山	13	2	0	15	0	4	0	0
合 計	611	56	3	670	20	156	20	26

平成29年度 こども健康週間県別代表者

府 県 名	代表者名
大 阪 府	梶本祐一郎 先生
兵 庫 県	春木 隆伸 先生
京 都 府	笹井 浩司 先生
奈 良 県	池尾元三朗 先生
和 歌 山 県	金尾 好章 先生
滋 賀 県	池本 博之 先生

平成28年度 一般社団法人 日本小児歯科学会近畿地方会 会計報告

一般会計

収 入	本学会からの援助金	¥	855,500
	第34回近畿地方会大会 援助金残金	¥	0
	預金利息	¥	2
	合 計①	¥	855,502
支 出	通信会議費	¥	33,298
	第35回近畿地方会大会 援助金 + 振込手数料	¥	500,216
	ニュースレター15号経費 + 振込手数料	¥	178,200
	第36回近畿地方会大会 準備金 + 振込手数料	¥	143,788
	合 計②	¥	855,502
	合計① - 合計②	¥	0
	通信会議費 詳細	¥	23,760
	会議費	¥	9,538
	事務費	¥	33,298
	合 計	¥	33,298

特別会計

収 入	普通預金	¥	1,383,026
	スーパー定期	¥	500,000
	預金利息	¥	101
	合 計	¥	1,883,127
支 出	なし	¥	0
繰 越	普通預金	¥	1,383,127
	スーパー定期	¥	500,000
	合 計	¥	1,883,127

平成29年度 一般社団法人 日本小児歯科学会近畿地方会 予算(案)

一般会計

収 入	本学会からの援助金	¥	850,000
	第35回近畿地方会大会 援助金残金	¥	0
	預金利息	¥	10
	合 計	¥	850,010
支 出	通信会議費	¥	50,000
	第36回近畿地方会大会 援助金	¥	500,000
	ニュースレター16号経費	¥	200,000
	第37回近畿地方会大会 準備金	¥	100,010
	合 計	¥	850,010

特別会計

収 入	普通預金	¥	1,383,127
	スーパー定期	¥	500,000
	預金利息	¥	100
	合 計	¥	1,883,227
支 出	なし	¥	0

※残金は来年度へ繰り越し

第36回日本小児歯科学会近畿地方会大会および総会のご案内

メインテーマ

『小児歯科医療の新たな展開をめざして
～つながりの中で子どもを育む～』

日 時：平成29年10月15日（日） 8：40～16：00

会 場：大阪歯科大学楠葉学舎 大阪府枚方市楠葉花園町 8 - 1

〔京阪本線「樟葉駅」下車 徒歩5分〕

大 会 長：有田 憲司（大阪歯科大学小児歯科学講座 主任教授）

準備委員長：原田 京子（大阪歯科大学小児歯科学講座 准教授）

大 会 内 容：(1) 特別講演「姿勢と子どもロコモ」

林 承弘 先生（林整形外科院長・SLOC 副理事長）

(2) 教育講演「攻めの保存治療 ～MTA と CR の活用～」

高田 光彦 先生（高田歯科 三宮医院院長）

(3) 認定歯科衛生士セミナー「カリエスリスクについて考える」

土居 貴士 先生（大阪歯科大学口腔衛生学講座講師）

(4) ランチョンセミナー「小児歯科領域における S-PRG フィラーの応用」

株式会社 松風

福本 敏 先生（東北大学大学院歯学研究科小児発達歯科学分野教授）

(5) 一般発表（ポスター発表のみ）

(6) 専門医・認定医更新発表

(7) 認定歯科衛生士更新発表

(8) 平成29年度総会

(9) 商業展示

(10) 託児所設置（要・事前予約）

大会事務局：大阪歯科大学小児歯科学講座

〒540-0008 大阪府大阪市中央区大手前 1 - 5 - 17

TEL：06-6910-1515 E-mail：36chihoukai@cc.osaka-dent.ac.jp

HP：http://jspd.or.jp/contents/main/guide/kinki.html

平成29年度 日本小児歯科学会地方会開催日程

◆北日本地方会

第35回日本小児歯科学会北日本地方会大会および総会

大会長：加藤 市左エ門

準備委員長：工藤 理子

大会テーマ：「明日から役立つ小児歯科診療を獲得する」

日時：平成29年10月8日（日）9：00～18：00（受付8：30開始）

会場：山形県歯科医師会館 〒990-0031 山形県山形市十日町2丁目4-35

TEL：023-632-8020 FAX：023-631-7477

大会内容：1) 基本講演

「明日から役立つ臨床カンファレンス」日常良く経験する臨床を再確認する

2) ポスター発表

①一般演題発表

②専門医・認定医資格更新用プレゼンテーション

③認定歯科衛生士資格申請および更新プレゼンテーション

3) 特別講演

「本来あるべき歯科医療を考える」

講師 佐々木英夫 先生（山形市）

4) 教育講演

「小児歯科 過去から未来へ」

講師 田中 光郎 先生（岩手医科大学歯学部小児歯科学講座前教授）

5) 総会

6) 商業展示

懇親会：平成29年10月8日（日）18：30～

ホテルキャッスル 〒990-0031 山形県山形市十日町4-2-7

TEL：023-631-3311 FAX：023-631-3373

大会事務局：〒990-0067 山形市花楸1-21-3 加藤歯科医院内

TEL：023-624-3456 FAX：023-624-3324

E-mail：ichizaem@juno.ocn.ne.jp

HP：http://jspdn35.org/

◆関東地方会

第32回日本小児歯科学会関東地方会大会・総会

大会テーマ：「子どもたちの輝く明日のために」

大会長：谷 博司

準備委員長：中村佐和子 副準備委員長：清水 邦彦

日時：平成29年10月1日（日）9：30～

会場：松戸市民会館

大会内容：1) 基調講演

「口腔疾患の発症リスクを遺伝から伝える」

清水 武彦 先生（日本大学松戸歯学部小児歯科学講座教授）

2) 特別講演

「小児アレルギー疾患のトピックス（食物アレルギーを中心に）
～昔の常識は今の非常識？～」
佐藤 好範 先生（千葉県小児科医会会長）

3) 教育講演

(1) 「若年者の歯の外傷の臨床的対応」

清水 邦彦 先生（日本大学松戸歯学部小児歯科学講座診療教授）

(2) 「日本人正常咬合者の歯列、歯槽部、口蓋の成長発育」

～特に歯牙年齢での観察における成長変化について～

堀川 早苗 先生（おだか小児歯科院長）

(3) 「小児の睡眠関連呼吸障害に対する歯科医師の役割」

外木 守雄 先生（日本大学歯学部口腔外科学講座教授・日本睡眠歯科学会理事長）

4) 歯科衛生士セミナー（認定歯科衛生士認定更新必須研修セミナー）

「歯科衛生士のための小児の救急処置と歯科医療管理」 & 「小児の救急蘇生実習」

山口 秀紀 先生（日本大学松戸歯学部歯科麻酔学講座准教授）

5) 若き研究者の集い

6) 特別企画 9 大学ポスター

「新医局員の教育 - 特に小児への対応について -」

7) ランチョンセミナー

「小児低ホスファターゼ症の診断と治療」

望月 弘 先生（埼玉県立小児医療センター副病院長）

「小児歯科領域における低ホスファターゼ症に関する最新の知見」

大川 玲奈 先生（大阪大学歯学部小児歯科学講座講師）

「口呼吸症候群と口唇閉鎖～りっぷるくんの臨床～」

齊藤 一誠 先生（新潟大学大学院医歯学総合研究科小児歯科学分野准教授）

8) ポスター発表

(1) 一般演題発表

(2) 認定歯科衛生士 資格申請発表

9) 資格更新用ケースプレゼンテーション

(1) 専門医・認定医 資格更新用プレゼンテーション

(2) 認定歯科衛生士 資格更新用プレゼンテーション

10. 商業展示

連絡先：第32回日本小児歯科学会関東地方会大会 準備委員会 事務局

〒135-0015 東京都江東区千石 3-1-36 GRACE BLDG.1F.2F.3F

E-mail：jspd.kantoh32@gmail.com

◆中部地方会

第36回日本小児歯科学会中部地方会大会および総会

大会テーマ：「こどもたちの笑顔のために - 信州からの発信 -」

会 期：平成29年10月22日（日） 9：00～16：00

会 場：ホクト文化ホール（長野県県民文化会館）

〒380-0928 長野県長野市若里 1-1-3 TEL：026-226-0008（代表）

大 会 長：正村 正仁（松本歯科大学小児歯科学講座准教授）

準備委員長：松田 厚子（明成歯科医院）

大会内容：1. 特別講演

「小児白血病の診断、治療と今後の課題」

塩原 正明 先生（松本歯科大学小児科教授）

2. 市民公開講座

「こどもの歯ならばいつから治す？～こどもの歯列矯正誘導装置の機能と効果～」

大塚 淳 先生（大塚矯正歯科クリニック院長）

3. 歯科衛生士セミナー

「明日から使える 行動科学ダイジェスト」

仲井 雪絵 先生（静岡県公立大学法人静岡県立大学短期大学部歯科衛生学科教授）

4. ランチョンセミナー

5. ポスター発表

1) 一般演題発表

2) 専門医・認定医、認定歯科衛生士資格更新ケースプレゼンテーション

6. 総会

7. 商業展示

8. 懇親会：平成29年10月21日（土）18：00～

ホテルメトロポリタン長野

〒380-0824 長野県長野市南石堂町1346 TEL：026-291-7000（代表）

連絡先：松本歯科大学小児歯科学講座内 中部地方会大会事務局

〒399-0781 長野県塩尻市広丘郷原1780番地

TEL：0263-51-2106 E-mail：chubu36@po.mdu.ac.jp

◆中四国地方会

第36回中四国地方会大会および総会

テーマ：「小児歯科が目指す医療リテラシー ～学んで蓄える健口財産～」

会期：平成29年11月5日（日）9：00～16：30

会場：広島県歯科医師会館 〒732-0057 広島市東区二葉の里三丁目2番4号

大会長：一瀬 智生（広島臨床小児歯科研究会会長）

準備委員長：森本 英樹（広島臨床小児歯科研究会幹事）

後援：広島県歯科医師会 担当校：広島大学

大会内容：1. 特別講演

「もう一つの小児歯科である「保育歯科」を考える～保育に役立つ口腔機能の見方～」

元開 富士雄 先生（神奈川県横浜市開業）

2. 教育講演

「小児歯科医にも実践していただきたい 生物学原理に基づく最大非侵襲の矯正歯科臨床」

新藤 勝之 先生（東京都八王子市開業）

3. 歯科衛生士セミナー

「小児歯科臨床における Behavior Management」

石川 隆義 先生（大垣女子短期大学教授）

4. ランチョンセミナー

「低ホスファターゼ症の診断と治療」

岡田 賢 先生（広島大学大学院医歯薬保健学研究院小児科学研究室講師）

「低ホスファターゼ症における歯科症状とその対応」

仲野 和彦 先生（大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学教室教授）

5. シンポジウム：教育こそ最良のワクチン ～学校歯科保健からの発信～

1) 「学校歯科保健の意義－健康価値観の育成－」

丸山 進一郎 先生（医療法人アリスバンビーニ小児歯科）

2) 「健康日本21時代に相応しい地域学校歯科保健活動のあり方とは」

小羽田 敦正 先生（安佐歯科医師会学校保健部理事）

3) 「元気な子どもを育成する小児歯科スピリット」

中島 正人 先生（岐阜県白川病院）

総合討論

6. 一般発表：展示発表のみ

7. 専門医・認定医・認定歯科衛生士資格更新用プレゼンテーション

8. 商業展示

連絡先：第36回中四国地方会大会および総会事務局

〒737-2213 広島県江田島視大柿町大原483-1 森本歯科医院

TEL：0823-57-0557 FAX：0823-57-0558 E-mail：h-morimoto@umin.ac.jp

◆九州地方会

第35回九州地方会大会および総会

メインテーマ：「笑顔とお口の健康づくり～夢をバルーンにのせて！～」

日時：平成29年11月19日（日）

会場：佐賀県歯科医師会館（佐賀県佐賀市）

大会長：寺尾 隆治（佐賀県歯科医師会会長）

準備委員長：藤原 卓（長崎大学大学院医歯薬総合研究科小児歯科学分野教授）

大会長補佐：原 秀幸（佐賀県歯科医師会地域保健部理事）

大会内容：1. 基調講演

「楽しい学校歯科保健 ～これからの学校歯科医～」

丸山 進一郎 先生（医療法人アリスバンビーニ小児歯科理事長）

2. 特別講演

「齲蝕と間違えやすいエナメル質形成不全」

新谷 誠康 先生（東京歯科大学小児歯科学講座教授）

3. シンポジウム

テーマ「特別支援を要するすべての子どもたちへ」

I 「佐賀県特別支援学校の現状について」

舩元 康浩 先生（佐賀県学校歯科医会委員会委員長）

II 「療育医療センター若楠療育園の取り組み」

久保田 智彦 先生（若楠療育園歯科部長）

III 「佐賀整肢学園からつ医療福祉センターの取り組み」

石井 光治 先生（佐賀整肢学園からつ医療福祉センター歯科医師）

IV 「特別支援学校 学校歯科医の取り組み」

堀江 稔 先生（佐賀県立伊万里特別支援学校学校歯科医）

4. 歯科衛生士セミナー

「学校歯科保健の基礎知識～明るく楽しい学校歯科保健活動のために～」

齋藤 秀子 先生 (埼玉県歯科医師会常務理事)

5. ランチョンセミナー

「口呼吸症候群と口唇閉鎖～りっぷるくんの臨床～」

齋藤 一誠 先生 (新潟大学大学院医歯学総合研究科小児歯科学分野准教授)

6. ポスター発表

1) 一般演題発表

2) 専門医・認定医・認定歯科衛生士更新用プレゼンテーション

7. 商業展示

8. 懇親会：ホテル グランデ はがくれ (佐賀市) (11月18日 (土))

連絡先：第35回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会事務局

〒852-8588 長崎県長崎市坂本1丁目7-1

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科小児歯科学分野内

TEL：095-819-7674 FAX：095-819-7675

第56回日本小児歯科学会大会

大会長 有田 憲司

準備委員長 原田 京子

事務局長 阿部 洋子

開催期間 2018年(平成30年)5月10日(木)～5月11日(金)

開催会場 大阪国際会議場(〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51)

開催テーマ「自然・進化・未来～子どもよりたいせつなものがありますか～」

第37回日本小児歯科学会近畿地方会大会

大会長 岡本 篤剛

開催期間 2018年(平成30年)9月30日(日)

開催会場 生田神社会館(神戸市中央区下山手通1丁目2)

《日本小児歯科学会近畿地方会》

平成28・29年度役員名簿

会 長	有田 憲司
副 会 長	仲野 和彦 ・ 池尾元三朗
会 計	野村 良太 ・ 佐々木秀和
庶 務	春木 隆伸 ・ 岡本 篤剛
監 事	樂木 正実 ・ 佐伯 克彦
顧 問	嘉ノ海龍三 ・ 梶本祐一郎
歯科衛生士会	永井るみこ
大 学	大川 玲奈 ・ 原田 京子 ・ 阿部 洋子 ・ 園本 美恵
滋 賀 県	池本 博之 ・ 中林あつ子
京 都 府	大原 裕 ・ 笹井 浩司 ・ 中村 弘之 ・ 仲岡 佳彦
奈 良 県	中川 佳昭 ・ 林 昌司
和歌山県	金尾 好章 ・ 田岡 郁敏
大 阪 府	浅田 匡彦 ・ 吾妻 昭夫 ・ 野々村榮二 ・ 大橋 健治 ・ 大西 智之 大道 士郎 ・ 川口 護 ・ 桑原 康生 ・ 佐々木有美 ・ 副島 之彦 中原 弘美 ・ 松尾 博之
兵 庫 県	石井 信行 ・ 金澤 真亨 ・ 亀井有太郎 ・ 坂田 滋 ・ 竹内 幸雄 徳永順一郎
名誉会員	祖父江鎮雄 ・ 大嶋 隆 ・ 嘉藤 幹夫

●編集後記

少子化の時代だからか、歯学部を卒業して小児歯科に残る学生が減っていると最近よく耳にします。私が卒業した平成元年頃は、小児歯科はとても人気の講座でした。子ども達の口腔の健康を通して、たくさん子ども達の成長とともに歩んでいける。こんな素晴らしい、こんな楽しい職業はないのではないのでしょうか。近畿地方会の多くの小児歯科の先生も同じ思いだと思います。

小児歯科の魅力をもっともっと伝えていけたら、そして小児歯科に限らず、子ども達と関わることのできる仕事の素晴らしさがもっと伝われば、日本の少子化も吹っ飛んでしまうのではないか、そんな思いで地方会会報16号を編集しました。ご執筆いただいた先生方、ありがとうございました。(T・H)

今回、会報発行にお手伝い頂いた方々

池尾元三朗・野村 良太・園本 美恵・有田 憲司
仲野 和彦・原田 京子・佐々木秀和・岡本 篤剛
田辺健一郎・日昌印刷(株)・春木 隆伸 (敬称略)

《住所変更(会誌送付先の変更)方法》

新・旧住所を事務局あて書面(FAXもしくはE-mail)にて下記までご連絡下さい。

一般財団法人 口腔保健協会内 日本小児歯科学会(事務局)

FAX:03(3947)8341

E-mail:gakkai38@kokuhoken.or.jp

日本小児歯科学会近畿地方会 HP

<http://square.umin.ac.jp/jspd/>

平成29年9月22日 印刷

平成29年9月29日 発行

発行者 一般社団法人 日本小児歯科学会近畿地方会
会報編集委員会

印刷所 日昌印刷(株)

